



総合型地域スポーツクラブ

ひめさゆりくらぶ

理事長 沢井 安昭 さん

平成 20 年 2 月 29 日設立

会員数 60 名(平成 26 年 6 月 1 日現在)

運動やレクリエーション、自然環境の中での体験活動、地域に伝わる文化・伝承に親しむ文化づくりや各種スポーツイベントの開催を通じて子どもから高齢者まで気軽に集まれる場所を提供している

現在の活動内容

誰でも参加しやすいスポーツの場を提供するとともに、運動を通じてまちづくり、世代間交流を図っています。“スポーツは文化”との考えを基に、“きてみっせ！みでみっせ！やってみっせ！”を合言葉に地域の活性化を最終目標として活動をしています。昨年からは熱塩加納体育館に事務局を構え、クラブを運営する環境も少しずつ整ってきました。

クラブでは、多くの種目に取り組んでいます。火曜日と木曜日は、小学生対象に陸上・バレーボール・ソフトボールを中心としながら、様々なスポーツの体験も取り入れています。金曜日は、主に中学生対象にサッカー・フットサルを行っています。

また、グラウンドゴルフ教室やお元気体操教室など高齢者向けのプログラムもあります。楽しく体を動かすことと健康に過ごすための講座の開催を通じて、多くの方に交流の場を提供しています。

さらに、保護者の方も参加しての 0 才児からの幼児教室を開催するとともに、地元のエアパーク三ノ倉高原にてパラグライダー教室の開催や今年度から新たに成人を対象としたサッカー・フットサルも始めました。このような活動を通じて、幅広い年代の方々にスポーツの楽しさを伝えるお手伝いをしています。

活動を始めたきっかけ

沢井さん：体育指導員を務めていたころ、総合型地域スポーツクラブ※の設立に関する講演を聴く機会があり、その魅力を感じていました。また、当時、熱塩加納村教育委員会に県から派遣された体育の先生がおられ、子供向けに会員を募り、カニとりなど遊びの要素を盛り込んだレクリエーション活動を通じて青少年育成事業を展開していました。その先生も総合型地域スポーツクラブに思い入れがある方で、その方の影響を受け子どもたちには色々な体験をさせたいという思いが強くなり、地域の方とかかわり合いながらスポーツの場を提供していこうと思うようになりました。

平林さん：中学校の PTA 役員を務めていたころ、改めて我が子が学校や地域にとってもお世話になり、成長したことを実感しました。子育てが一段落し、主人と何かしたいと考えていた時にひめさゆりくらぶに誘っていただきました。

※幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型のスポーツクラブ



グラウンドゴルフ

設立への強い思い

平成 18 年に 6 名で設立準備委員会を立ち上げ、日本体育協会の補助を受け、平成 20 年 2 月にひめさゆりくらぶを設立しました。

その後も補助を活用しながら活動を続けてきましたが、補助金の書類作成にかなりの時間を要しました。それぞれの仕事が終わってから作業となるので、時には夜中の 2 時ごろまでかかったこともありました。改めてクラブの目的を確認し、スポーツを通じた地域づくりにつながる実務に時間を充てようと考え、補助金に頼らず、その後 3 年間は自主財源で活動をしてきました。当時は、スタッフへの謝礼は会議 1 回 30 円、スポーツ教室 1 回 50 円という状態でした。ほぼ無償に近い中での活動でありましたが、スタッフ全員の地域を活性化したいと強い思いが同じであったので、苦勞を乗り越えてここまでやってこられたのだと感じています。

ひめさゆりくらぶの特色

ひめさゆりくらぶの特色は、多種多様な種目・事業に取り組みながらも、ゆるやかな雰囲気の中で活動しているところにあります。このことが、長く、そして楽しく続けるコツかもしれません。これまで地道な活動を続けてきましたが、その甲斐もあり、口コミなどで会員は徐々に増えてきています。

2 年前から熱塩加納町体育協会に加盟していますが、他に加盟団体はゲートボール協会とスキー協会の 2 団体だけになっているので、その中でいかに立ちまわるかが重要だと意識しています。

子どもたちに目を向けますと、小学校ではスポーツ少年団で活動をしていても、その種目が中学校の部活がないために続けられない場合もあるので、その受け皿としての役割も重要です。主となる団体等の活動を阻害することなく、その隙間を補って柔軟に対応していくことこそがクラブの持ち味だと思います。また、ひめさゆりくらぶでスポーツに触れることになった子どもが本格的にその種目に取り組むため、他のスポーツ少年団へ入団する場合があります。ともに活動してきた仲間がいなくなるという寂しさより、スポーツの楽しさを感じてもらい、そして次のステップへ羽ばたいてくれたことで、大きなうれしさを感じます。クラブの活動を続けてきて本当に良かったと思う瞬間です。

ひめさゆりくらぶは、参加者の地域や年齢の定めはなく、間口を広く受け入れています。まずは気軽に参加してもらい、運動を始めるきっかけになればと考えています。「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに取り組むことができる機会や環境を提供し、世代を越えて地域住民の方々の交流を図るコーディネーターとしての役割を担っていきたいと思います。また、クラブでは思い立ったら「まずやってみる」ことにしています。他の団体にはないユニークな発想で自分たちが楽しみながら取り組んでいます。



キッズ体操



お元気教室

課題

無理のない中での活動を展開していますが、新たなスタッフの確保や指導者のスキルアップを図っていききたいと思います。また、市内に総合型地域スポーツクラブが増えてくれば、クラブ間の連携もとれ、指導者の交流を図り

ながら、地域の特徴を活かした体験メニューも取り入れることができると考えます。

今まではPR不足は否めませんので、多くの方に知っていただくために今後はPR活動に力を入れていきたいです。

また、行政が主催する参加費が無料の事業との類似した事業においては、有料とした場合、参加意識の低下を招く場合があります。類似事業の調整を図るとともに、事業内容を充実させ、有料の場合でも参加者に満足していただける事業を展開していきたいと思っています。

活動を通じて伝えていきたいこと

多様化社会のなか、与えられているスポーツや文化では興味がわかなくなっていると感じます。「自分たちでやりたいことを見つけて活動していく」このことが大事だということをクラブの活動を通じて伝えていきたいです。

設立時からの思いである「人とのつながり」ができれば自然と声をかけたり、相手を気づかうことができます。



スポーツチャンバラ

また、保護者との信頼関係が築ければ、子どもに対し、声かけや注意もできますし、成長に必要なしつけも行えます。「子どもたちをみんなで見守っていく」そんな環境を作り上げたいと思います。

また、昔自分たちが子どもだったころ、様々な遊びの中で、自分たちでルールを決めたり、上の子は下の子の面倒を見たり、また下の子は上の子からたくさんのことを学びました。昔当たり前であったことを今の子どもたちにも経験させてあげたいと思います。子どもたちには限りない可能性があるので、それを見出し、伸ばしていくとともに、夢を持って何事にも取り組んでほしいと思います。

広がる活動

クラブが取り組んでいる事業には、行政と類似したものもありますが、それぞれの特長を生かして、連携していきたいと思っています。秋のスポーツフェスティバルでは、教育委員会とのタイアップが実現し、事業内容も充実し、一歩前進した取組となりました。

また、今年から中学校の野球部の外部指導として声をかけていただき、ひめさゆりくらぶとしての活動が広がっていくことはとてもうれしいことです。

今後の展望

今後は、NPO 法人の取得を目指しています。このことにより、活動の幅が広がり、より充実したクラブ運営を目指したいと思います。また、内部指導者の養成やノウハウを磨き、参加者を増やしていきたいと考えています。

「継続は力なり」といいますが、焦らず少しずつ進めていくことが大事なので、体育協会や他の団体との連携を図りながら、地域に元気を発信したいと思います。将来的には、地元で広域的なスポーツ大会を開催し、地域の活性化のお役に立てればとの思いがあります。

地域や人々の交流を広め「まちづくり」「仲間づくり」「人づくり」を見据えて活動を展開していければというのがひめさゆりくらぶの願いです。